八戸市市民活動サポートセンター
「ふれあいセンター＜わいぐ＞」
情報誌
2021.10 月号 No.75

WAIGU

～もくじ～

●新規登録団体のご紹介……1
●継続して活動している団体のご紹介……2
●わいぐ活動報告……3
●わいぐ情報クリップ ……3
●スタッフおすすめ わいぐライブラリィ……3
●助成金情報……４
●編集後記……４

写真1 参加者の皆さん

写真2 活動発表

写真3 会場と参加者

写真4 壇上の若新雄純さんとJKchan

●新規登録団体のご紹介●

NPO 法人
地域活性化教育支援ネットワーク

代表者
長谷川 明さん

元気な八戸づくり

【課題と目的】

NPO 法人地域活性化教育支援ネットワーク（以下 REN）は、人口減少、特に若年者の地域流出の課題解決をテーマとしています。人材の流出は、地域のくらし、産業、文化など多くの活動に大きな課題を投げかけています。地域の発展には、人が大切です。特に、若者の存在は大きな力です。REN の目的は、多くの連携による地域活性化のための教育支援活動です。

【まずは、地域への関心を】

この課題解決のためには、地域への関心を高める教育活動が重要と考えています。地域にはそれぞれ優れた魅力があります。人、自然、歴史、文化、産業、くらしに関わる魅力です。地域への関心から、地域への愛着、そして誇りを生み出す教育活動を支援します。

【活動概要】

昨年 9 月には、「はっち」で REN 発足記念イベントを開催しました（写真 1、2）。まちづくり活動の報告とワークショップを通し、学生たちが、多くの課題を指摘し、優れた提案を発表しています。今年 7 月 23 日には、「マチニワ」で「創造的不正解」と題する若新雄純さん（慶應義塾大学特任准教授）による講演会を開催しました（写真 3、4）。女子高校生によるまちづくり活動 JKchan 発足記念として開催されたものです。

【今後の活動】

中学生が地域の企業や大学を知る機会を提供する大学企業見学会（2021年11月）、地域に関心を持ってもらう元気な八戸づくり若者シンポジウム（2022年2月）を実施します。また、三社大祭などの文化継承を支援する活動も継続していきます。皆さん、よろしくお願いします。

●設立年月日：2020 年 8 月 7 日
●会員数：26 名

継続して活動している団体のご紹介

青森県グラウンド・ゴルフ協会

代表　立花正志

当協会は 1992 年 5 月に設立され、現在 1,800 名余りの老若男女が健康保持とお互いの親睦を図るとともに、グラウンド・ゴルフを生涯スポーツとして普及振興に努めています。

昨年来、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から全国大会や東北大会などほとんどの大会が中止となり、それに倣い講習会や県の様々な大会も中止を余儀なくされましたが、10 月 14 日には秋季青森県グラウンド・ゴルフ交歓大会を行うことができました。運営するにあたって「楽しく活動する」ことを心がけています。

グラウンド・ゴルフは「誰でも、どこでも、いつでもできる」楽しいスポーツです。仲間や友達もたくさんできます。心と体の健康のために始めてみませんか？

八戸さんぽマイスター

代表　三浦和壽

八戸さんぽマイスターは、2015年に八戸市が実施した「街なか案内人育成事業」の研修を経て、2017年に「まち歩きガイド団体」として活動をスタートさせました。「八戸の魅力を発信して、たくさんの八戸のファンをつくる」ことを活動の目的として頑張っています。まち歩きのコースとしては「中心街の横丁めぐり」や「陸奥湊の散策」そして「舘鼻岸壁朝市」などを案内しています。

今年は「元気な八戸づくり」市民奨励金制度を活用して「八戸三社大祭御朱印めぐり」や「海辺のスイーツとランチ・至福のひと時」などの新しいコースの作成に取り組んでいます。

新型コロナウイルス感染対策で大変な時代ですが、皆様も一緒に「八戸のファンづくり」を楽しんでみませんか。

八戸友の会

代表　佐藤玲子

私たちは、八戸出身の羽仁もと子が創刊した雑誌「婦人之友」の愛読者によって 1930 年に誕生した団体です。友の会の数 180 団体、会員は約 15,000 人で全国的な組織を持つ女性の団体です。昨年八戸友の会は創立 90 周年を迎えました。

昨年度の活動はコロナ禍のため、会員のみの月一回の例会、グループ活動の最寄会（月２～３回）などの集まりは持つことが出来ましたが、会員外のお客様をお誘いする毎年好評の、生産友愛セール（5月、12月）、家事家計講習会（11月）、パン講習会（6月）、アップルパイ講習会（1月）、乳幼児を持つお母さんの集まり（年 6 回）など対外的な活動はできず、とても残念でした。

私たち会員の今年の生活目標の一つでもある「環境に配慮した生活をしましょう」から、会員一人一人が生活の仕方の目標を書きました。「冷蔵庫内を見やすく保つ」、「プラスチック製品の使用量を減らす」「食品ロスを減らす」などが多かったようです。

活動の一環である「子ども部」に来て下さったお母様、そして会員も 5 月に友の家に「へちまの苗」を植えました。「グリーンカーテン」として窓辺も涼しげになりました。また 10 月にはヘチマを収穫し、ヘチマたわしを作りました。家庭の排水溝からマイクロプラスチックを減らせたらと思います。一人一人が少しでも努力し、美しい地球を子や孫に渡せるよう、少しは不便を感じても努力していけたらと思います。

毎年開催される「家事会計講習会」ですが、今年は 10 月 28 日 (木) に行いました。今年のテーマは、「買いすぎ食べすぎ使いすぎ　家計簿つけて見直そう！ SDGs はわが家から」としました。持続可能な社会をつくるため、会員が日頃励んでいる適量の生活をご紹介しました。

わいぐ活動報告

み～んなで「わいぐ」においでよ！
～わいぐのユニバーサルデザインを考えるワーキング～

８月７日と 21 日の２回にわたり、障がい者団体やその支援団体及び高齢者の団体の利用を進めるために、また多くの皆さんにわいぐを活用してもらうにはどうしたらいいか、何が必要かを、話し合いました。

わいぐは、車椅子での利用が可能なことや筆談ができること、また、会議や資料等の印刷ができるだけではなく、パソコンや Wi-Fi が使えること、わからないところは、スタッフがサポートをすることをもっと多くの人に知ってもらいたいという意見が出ました。今後は障がい者団体や高齢者団体などの利用を促進するため、わいぐ情報誌や HP を活用し、より情報を発信することになりました。

わいぐ情報クリップ　詳しくは、わいぐまでお問合せください。

●八戸圏域住民活動促進講座

「協働のまちづくり研修会」
日時　令和３年 11 月 20 日 (土)
　　午後１時 30 分～午後３時
※オンラインでの開催となります。

●市民活動、ボランティアのステップアップ講座

「SNS の種類と効果的な使い方。」講座
日時　令和３年 10 月 23 日 (土)30 日 (土)
11 月６日 (土)13 日 (土)　計４回
　　午後１時 30 分～午後３時 30 分
場所　八戸市市民活動サポートセンター「わいぐ」交流サロン

★パソコンスキルアップ相談

日時　毎月第２火曜日
　　午後１時 30 分～午後３時 30 分

★活動の悩みなんでも相談

日時　毎月第３火曜日
　　午後１時 30 分～午後３時 30 分

※パソコンスキルアップ相談や活動の悩みなんでも相談は、開催日以外でも対応いたしますので、お気軽にスタッフにお声をかけてください。

本の貸出しを始めました

わいぐでは住民活動図書コーナーを設置し、活動に役立つ新刊を毎年取り揃えています。図書は閲覧のほか、借りることもできます。

本の貸出、始めました！

貸出冊数：　１人あたり１冊
貸出期間：　１冊あたり１週間以内
貸出時間：　「わいぐ」開館時間内
貸出条件：　登録団体の会員
貸出方法：　窓口の貸出簿に記入

スタッフおすすめ　わいぐライブラリィ

わいぐでは、住民活動に役立つ書籍や冊子を閲覧できます。
また、わいぐ登録団体の会員は借りることもできます。

未来をつくる道具　わたしたちのＳＤＧｓ

著者　川廷昌広
製作　ナツメ出版企画株式会社
２０２０年１０月１日　発行

WAIGU 2021 年２月号でも取り上げた SDG s「Sustainable Development Goals (持続可能な開発目標)」。その SDG s 普及の第一人者、川廷昌広氏による待望のＳＤＧｓ解説書。著者が自ら実践してきた具体的な取組みを通して、丁寧に解説する講演が非常に分かりやすいと評判に。その講演の熱量のままに、筆圧のある文章で書籍化。ＳＤＧｓ採択への道のり、企業価値、地方創生、そしてお茶の間、さらに次世代と、さまざまな立場からＳＤＧｓを‘自分ごと’として捉えることができる内容になっています。

っぽくなるデザイン

著者　ingectar-e
発行　株式会社エムディエヌコーポレーション
２０２０年３月１１日　発行

今よく使われていたり、よく見る表現の「っぽく」なるデザインがギュッと集まった一冊。見るだけで楽しい作例から活用ポイントを探して、チラシやポスター制作に活かそう。日常の中にある「っぽさ」に目を向けることで、デザインの練習につながりますよ。

助成金情報

●令和４年度子どもゆめ基金助成金

～助成の対象となる活動～

①子どもの体験活動

・キャンプや自然観察などの自然体験活動
・科学実験教室などの科学体験活動
・文化・芸術、スポーツ等を通じた交流を目的とする活動
・清掃活動などの社会奉仕体験活動
・地域の商店街・農業・漁業などの職場体験活動　など

②子どもの読書活動

・読み聞かせ会、読書会活動　など

～助成対象となる団体～

社団法人、財団法人、NPO 法人、法人格を有しないが活動を実施するための体制が整っていると認められる団体

～一次募集～

【活動期間】令和４年４月１日～令和５年３月 31 日
【郵送申請】2021 年 10 月 1 日 (金) ～ 11 月 16 日 (火) 消印有効
【電子申請】2021 年 10 月 1 日 (金) ～ 11 月 30 日 (火)17 時締切

～二次募集～

【活動期間】令和４年 10 月１日～令和５年３月 31 日
【郵送申請】2022 年 5 月 1 日 (日) ～ 6 月 14 日 (火) 消印有効
【電子申請】2022 年 5 月 1 日 (日) ～ 6 月 28 日 (火)17 時締切

～助成金の額～

１活動あたりの助成金の額は、全国規模の活動は 600 万円、都道府県規模の活動は 200 万円、市区町村規模の活動は 100 万円を限度額としています。ただし､活動実績のない新規団体への助成については、原則として限度額の２分の１とします。

詳しくはホームページをご覧ください。

https:// yumekikin.niye.go.jp

～問合せ先～

独立行政法人国立青少年教育振興機構
子どもゆめ基金部助成課
〒151-0052
東京都渋谷区代々木神園町 3-1
フリーダイヤル（無料）
0120-579081
（平日 9:00～17:45）
E-mail: yume@niye.go.jp

●2022 年度「POSC 社会貢献活動支援のための助成」

助成事業は、一般社団法人パチンコ・パチスロ社会貢献機構（POSC）の中心事業です。

～一般助成～

下記の趣旨で実施する事業に対して助成します。

1. パチンコ・パチスロ依存問題の予防と解決に取り組む事業・研究への支援
2. 子どもの健全育成と､SDGs の目標のうち､「貧困をなくそう」「すべての人に健康と福祉」「質の高い教育をみんなに」の実現に資する活動への支援
3. 日本国内各地の災害被災者の支援や被災地復興のための支援

～助成金額～

助成限度額：１件 200 万円（総事業費 100 万円以上の事業に対して助成します）

～申請期間～

2021 年 11 月 8 日 (月) ～ 12 月 10 日 (金)15:00「原本・データ必着」（※1）

～対象期間～

原則として 2022 年 4 月～ 2023 年 3 月に展開する事業

(※1) 所定の申請用紙に記入した原本を郵送、同時に申請書のデータ（Excel）を josei-jigyo@posc.or.jp 宛にメールに添付して送ってください・申請書はホームページからダウンロードできます。

詳しくはホームページをご覧ください。

https://posc.or.jp

～問合せ先～

一般社団法人パチンコ・パチスロ社会貢献機構（POSC）
〒162-0844
東京都新宿区市谷八幡町 16 市ヶ谷見附ハイム 103
TEL　03-5227-1047　FAX　03-5227-1049

※その他の助成金情報は「わいぐ HP」でもご覧いただけます。

編集後記

わいぐの登録団体は現在 194 団体、情報交流サロンや安価で使える印刷機などを設置し、多くの団体に活用していただいている。新型コロナウイルス感染拡大防止などの措置で不便をかけているが、より一層多くの団体に有効利用していただくため、わいぐのユニバーサルデザインを考えるという意見交換会を 2 回に分けて行った。参加していただいた団体からは今後のわいぐの運営に活かす意見がたくさん出て、一つ一つ実践していこうと身が引き締まった。(赤坂)

～編集発行～
八戸市市民活動サポートセンター
「ふれあいセンター わいぐ」

●編集●
公募編集員＝松原新一・松林真弓
黒澤美智子
わいぐスタッフ

〒039－1166
青森県八戸市根城八丁目８－155
八戸市総合福祉会館
（はちふくプラザ　ねじょう）３階
TEL　0178－73－3311
FAX　0178－73－3312
Email support@waigu.info
HP　https://www.waigu.info/

facebook
（八戸市市民活動サポートセンターわいぐ）で検索
⇧こちらもご覧ください

⇦わいぐの HP はこちらからも見ることができます。

～「わいぐ」という名前について～

青森県南部地方の「私､行く（わぁいぐ）」という方言が元になっています。「市民が積極的に社会の問題に取り組むきっかけの場所になるように」という願いが込められています。